

平成26年4月 東京地区百貨店売上高概況

平成26年5月20日

I. 概況

1. 売上高総額	1,085億円余
2. 前年同月比	-10.8% (店舗数調整後/9か月ぶりマイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-9.4%(90.0%) : 非店頭-21.7%(10.0%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成26年3月対比±0店)
5. 総店舗面積	856,760㎡ (前年同月比:-4.7%)
6. 総従業員数	19,213人 (前年同月比:-1.1%)
7. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	9-11月 2.9%、10-12月 3.0%、11-1月 4.2%、 12-2月 4.2%、1-3月 12.3%、2-4月 7.1%

[参考] 平成25年4月の売上高増減率は2.1% (店舗数調整後)

【4月売上の特徴】

- (1) 東京地区の入店客数は、都内各店において、3月駆け込みの反動対策として展開した各施策 (物産催事・集客催事等) を図った結果、前年並み (0.1%) で推移した。
- (2) 東京地区でも全品目が前年割れしたが、この内、身のまわり品 (-9.6%) については、駆け込み需要の大きかった海外特選ブランドの反動減が押下げ要因となったものの、ハンドバッグ等の一般商材が堅調に推移したことで、減少幅は一桁に収まった。
- (3) 3月に倍増 (+103.3%) した美術・宝飾・貴金属 (4月:-41.0%) については、4割減と反動も大きく出たが、高級時計において、4月に新製品を投入したブランドでは、前年をクリアするケースもあった。高額商材の一般的な傾向として、4月の購買件数は減少したものの、購買単価は上昇基調にあり、付加価値志向の消費が続いている。
- (4) 食料品 (-3.6%) については、全国水準 (-4.7%) 以上に反動の影響は小さかったが、花見需要の盛り上がりや、地方物産展の積極展開もあって、特に惣菜 (-1.8%) については、ほぼ前年並みで推移した。
- (5) 東京地区の5月中間段階 (5月15日) までの商況は、前年比約6%減で推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
①増加した: 9店、②変化なし: 5店、③減少した: 5店
- (3) 4月歳時記 (春物商戦、新生活、花見、昭和の日) の売上 (同上/有効回答数13店舗)
①増加した: 1店、②変化なし: 4店、③減少した: 8店

東京地区百貨店 売上高速報 2014年04月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	108,554,024	100.0	-10.8 (-12.4)
紳士服・洋品	9,756,951	9.0	-6.8 (-7.9)
婦人服・洋品	23,254,625	21.4	-9.9 (-11.8)
子供服・洋品	2,361,155	2.2	-18.7 (-19.1)
その他衣料品	1,713,966	1.6	-23.3 (-24.5)
衣 料 品	37,086,697	34.2	-10.5 (-12.0)
身のまわり品	15,728,860	14.5	-9.6 (-12.4)
化粧品	5,740,795	5.3	-15.3 (-15.6)
美術・宝飾・貴金属	4,672,285	4.3	-41.0 (-44.8)
その他雑貨	5,476,861	5.0	-8.1 (-8.1)
雑 貨	15,889,941	14.6	-23.1 (-25.1)
家 具	1,809,087	1.7	-9.6 (-16.1)
家 電	652,707	0.6	-23.4
その他家庭用品	3,831,812	3.5	-17.6 (-18.3)
家 庭 用 品	6,293,606	5.8	-16.2 (-18.3)
生 鮮 食 品	4,277,764	3.9	-5.9 (-6.5)
菓 子	6,737,592	6.2	-3.7 (-4.7)
惣 菜	5,914,601	5.4	-1.8 (-2.6)
その他食料品	7,651,559	7.0	-3.6 (-4.4)
食 料 品	24,581,516	22.6	-3.6 (-4.4)
食 堂 喫 茶	2,986,796	2.8	-3.2 (-3.9)
サ ー ビ ス	3,012,706	2.8	7.0
そ の 他	2,973,902	2.7	-9.6 (-10.1)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)
※

商 品 券	2,565,331 千円	-8.9 (-9.3)
従 業 員 数	19,213 人	-1.1
店 舗 面 積	856,760 m ²	-4.7

営 業 日 数	30.0 日	前年	30.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、'12年1月以来27か月ぶりに全品目がマイナスとなった。また、全国同様先月の駆け込み需要の反動から、サービスが5か月連続のプラスとなった他は、全品目がマイナスとなった。紳士服・洋品、婦人服・洋品、その他雑貨、家具、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品は一桁のマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-10.8	—	9か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	-6.8	-0.6	2か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-9.9	-2.1	2か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-18.7	-0.4	2か月ぶりマイナス
その他衣料品	-23.3	-0.4	6か月ぶりマイナス
衣料品	-10.5	-3.6	2か月ぶりマイナス
身のまわり品	-9.6	-1.4	9か月ぶりマイナス
化粧品	-15.3	-0.9	21か月ぶりマイナス*
美術・宝飾・貴金属	-41.0	-2.7	16か月ぶりマイナス*
その他雑貨	-8.1	-0.4	3か月ぶりマイナス*
雑貨	-23.1	-3.9	14か月ぶりマイナス
家具	-9.6	-0.2	6か月ぶりマイナス
家電	-23.4	-0.2	3か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-17.6	-0.7	5か月ぶりマイナス
家庭用品	-16.2	-1.0	6か月ぶりマイナス
生鮮食品	-5.9	-0.2	3か月ぶりマイナス*
菓子	-3.7	-0.2	2か月ぶりマイナス*
惣菜	-1.8	-0.1	2か月ぶりマイナス*
その他食料品	-3.6	-0.2	3か月ぶりマイナス*
食料品	-3.6	-0.8	2か月ぶりマイナス
食堂喫茶	-3.2	-0.1	2か月ぶりマイナス
サービス	7.0	0.2	5か月連続プラス
その他	-9.6	-0.3	4か月ぶりマイナス
商品券	-8.9	-0.2	36か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・西田まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>